

# JPDA 11月定例理事会議事録

日 時：平成28年12月7日（水）午後1時30分～午後5時

場 所：文京シビックセンター(区民会議室) 5階 会議室 A

東京メトロ丸ノ内線・南北線「後樂園」駅前

出席者：理事24名中22名（加藤芳夫、田川雅一、青木(入江)あずさ、井上 聡、

牛島志津子、畝野裕司、梅原 真、江藤正典、小川裕子、小川 亮、

加藤(桑)和美、加藤憲司、竹内清高、中越 出、永島 学、永田麻美、

中森恭平、信藤洋二、藤田 隆、森 孝幹、八木勇達、山崎 茂)

欠席届（伊藤 透、小原 司）

監事2名中2名（池田 毅、時田秀久）

議事の経過：

定款第31条(議長)により加藤理事長を議長に選出し、議長は直ちに本日理事会出席者22名を確認、定款第32条(決議)による出席者が過半数に達していることを確認し、定款第34条により議事録署名人が加藤芳夫理事長、田川雅一副理事長、池田毅幹事、時田秀久監事の4氏であることを確認し、議事に入る。（決裁事項の議案号数はゴシック。）

## 第1号議案 新入会員入会審査の件

定例の入会審査に先立ち、江藤理事から「あの人を会員に」キャンペーンで推薦のあった徳田祐司氏につき審議の結果、満場一致で推挙が承認された。

引き続き本日の理事会までに入会申込み法人4社、個人3人があり、定款6条(会員資格の取得)並に会員規定に基づき入会審査を行い、下記の法人4社、個人3人の入会を承認した。

(1)あの人を会員に

徳田祐司(とくだ ゆうじ) (推薦者=江藤正典)

(2)法人会員(4社)

<東日本>

イグスンド ペーパーボード ジャパン株式会社 (推薦者=竹尾有一)

株式会社キャップ・クリエイティブ (推薦者=堀尾正己)

<西日本>

有限会社ミディアム (推薦者=神谷利男)

株式会社モリサワ (推薦者=田川雅一)

### (3)個人会員（3人）

<東日本>

加藤真弘(かとう まさひろ)（推薦者＝加藤芳夫）

柴野邦雄(しばの くにお)（推薦者＝青木あずさ）

田中秀典(たなか ひでのり)（推薦者＝時田秀久）

## 第2号議案 退会承認の件

本日の理事会までに退会届を提出した法人会員1社、個人会員4人の退会を承認した。

### (1)法人会員（1社）

<西日本>

TAISEI株式会社（自社都合により）[28年11月末退会希望]

### (2)個人会員（4人）

<東日本>

篠崎雅子（会社都合のため）[28年12月末退会希望]

高橋朋子（体調面で仕事の継続が困難なため）[28年9月末退会希望]

米林有美子（一身上の都合により）[28年10月末退会希望]

<西日本>

新井 好（経営不振のため）[28年9月末退会希望]

## 第3号議案 協会名義使用承認の件

山崎事務局長より下記の4件については、これまでに協会名義使用承認実績があることから、既に回答済みであることが案内された。

(1) 後援名義使用並びに協会賞の交付、審査委員派遣の依頼 1件

(2) 協賛名義の使用依頼 2件

(3) 協力名義の使用依頼 1件

## 第4号議案 正副理事長報告

加藤理事長、田川副理事長から下記の報告があった。また、加藤理事長から10月26日～28日に台湾で行われたヨーロッパパッケージデザイン会議において、フミ・ササダ氏の依頼で講演を行ったことが案内された。また、田川副理事長から12月5日に開催されたAPD代表者会議の報告として、本会議の「APD in 台湾 2017」は2017年10月28日・29日開催予定で、JPDAからは40名の参加が期待されているとのことであった。

加藤理事長報告 ・9/16 「現代日本のパッケージ展」の内覧会・オープニング  
レセプションに出席。（印刷博物館にて。）

- ・ 9/28 日本デザインコミッティー2016年度企画展「伝統の未来」  
に出席。(銀座・松屋にて。)
- ・ 10/2 「現代日本のパッケージ展」トークセッションにモデレー  
ターとして出席。ゲストに小川理事、永島理事、松田氏出席。
- ・ 10/8 富山デザインフェア・パッケージデザインワークショップに  
講師として参加。畝野、藤田、永田各理事参加。  
9月30日の学生パッケージデザインコンペは畝野理事が代理  
審査委員長を務めた。
- ・ 11/8 空間デザイン賞贈賞式 & 授賞式パーティーに出席。
- 田川副理事長報告 ・ 9/17 第29回公募2016日本ジュエリー展オープニングレセプション  
に出席。
- ・ 12/5 「APD in 台湾 2017」のための代表者会議に出席。  
森理事出席。

**第5号議案 「パッケージデザイン功績賞」顕彰者推薦に当たっての外部特別アドバイザーの  
選任と顕彰規定改訂承認について**

- ・ 山崎事務局長から資料に沿って下記の報告があった。  
昨年の内閣府立入検査で指摘のあった、『パッケージデザイン功績賞』顕彰者推薦に当  
たっては外部の意見を取り入れるべきである」に対応し、デザイン界に精通した「外部  
特別アドバイザー」として、前JIDA理事長の浅香嵩氏とJAGDA事務局長の大迫修三氏が  
推薦され承認された。また、これに伴う顕彰規定の改定案が提案され承認された。  
(外部特別アドバイザーの選任)第7条「パッケージデザイン功績賞」に関しては、公益  
性及び社会的重要性の見地に立って、顕彰者推薦に当たっては外部特別アドバイザーを  
選任し、意見・評価を得ることとする。

**第6号議案 次期事務局長候補承認について**

- ・ 山崎事務局長から資料に沿って、次期事務局長候補として資生堂OBの渡邊隆氏(開成学園  
高校・一橋大学卒業、67歳)が推薦され、承認された。正式には平成29年4月1日からの勤  
務となり、山崎事務局長は6月の平成28年度収支決算報告の内閣府提出まで渡邊氏のバック  
アップを行う予定である。

**第7号議案 2017「JPDA四万十デザイン会議」(案)について**

- ・ 梅原理事から資料に沿って下記の報告があった。  
2017年度のデザイン会議は高知県・四万十市長の要請もあって、四万十市での開催が2015

年11月の理事会で承認されており、これに基づいてデザイン会議の概要が案内された。日程は台風の時期を避けて11月10日(金)・11日(土)開催予定とし、基本は高知龍馬空港からの貸切バス移動で、JR利用者は直接四万十市に入るスケジュールとなる。デザイン会議の構想のタタキ台としては、「ローカルから全国の皆さんへ」「東京からしまんとのみなさんへ」を考えているが、今回のデザイン会議が成功するか否かは西日本委員会の皆さんとの協力体制を如何に作るかにかかっていることから、西日本委員会の皆さんとしっかり打ち合わせしていきたいと考えているので、詳細は後日の案内としたい。

#### 第8号議案 「2017日本パッケージデザイン大賞コンペ」贈賞式について

- ・竹内理事から資料に沿って下記の案内があった。
  - (1)トロフィー・賞状デザインについて
    - ・トロフィー：プレート形状を縦長にしてシャープな印象にする。
    - ・賞状：「賞名」表記の大きさを少し控えめにする。
  - (2)「販路分け」の表現について
    - ・「年鑑」等記録に残る媒体には、「セルフ販売(量販店、CVS 等)」「対面販売(百貨店、専門店、通販 等)」を基本表現としたい。
    - ・トロフィー・賞状には、「販路分け」の表記はしない。但し、贈賞式では口頭で説明を加える。
  - (3)贈賞式について
    - ・今回の課題：入賞点数の大幅な増加(36点→56点)による贈賞時間の調整。
    - ・全体の構成：カテゴリー(食品、アルコール、……。)ごとに金・銀・銅賞を表彰する。但し、「大賞」の発表に工夫が必要である。
    - ・贈賞式の案内は12月12日に事務局から行う予定。

日時：2017年1月17日(火) 受付 13:30 贈賞式 14:00～15:40  
レセプション 16:00～17:00
    - 会場：東京ガーデンパレス 贈賞式 天空(2F)、レセプション 平安B(3F)
    - ・入選・入賞作品の画像付きWEB掲載(インターネット委員会)は2月中旬予定。
    - ・贈賞時に会員拡大に向けて、受賞者に入会案内パンフ等を配布予定。

#### 第9号議案 平成28年度TOHOKUデザイン創造・活用支援事案「おいしい東北パッケージデザイン展2016」審査要領について

- ・加藤理事長から資料に沿って下記の案内があった。

11月4日(金)13:00～19:00に開催された標題審査会の開催概要が案内された。

入賞・入選：グランプリ 1点(優秀賞から1点)、優秀賞 10点、奨励賞 20点程度、

審査委員賞 5点、学生優秀賞 数点、入選 200点程度

審査基準：(1)製品化・実用化を前提としたデザインであること。(2)商品の販売促進やブランド化に寄与することを目的としたデザインであること。(3)ヒアリングシートに記載された対象企業等の要望に配慮したデザインであること。

評価ポイント：(1)アイキャッチャー・アピール度、(2)実用性・目的性度、(3)文字・レタリングの適性度、(4)色彩効果度、(5)肌触り・質感・紙質効果、

(6)販売時の店頭効果度、(7)地域性度、(8)リサイクル・エコロジー度

展覧会：入賞作品の東京での展覧会は2017年3～4月、東京ミッドタウン・デザインハブ(東京都港区)にて巡回展示予定。

※この件に関し梅原理事から、5万円の出資で60点ぐらいのデザインが提案されるというのは、優遇されすぎているように思う…との意見があった。

## 第10号議案 委員会報告

### <決済事項>

#### ○国内交流(金沢デザイン会議)

・加藤(桑)理事から、金沢デザイン会議と交流会についての収支計算報告があり、公益会計は、収入合計674,000円、協会補助620,000円、支出合計1,270,188円、収支差額+23,812円、

法人会計は、収入合計754,800円、協会補助 0円、支出合計750,600円、

収支差額+4,200円を承認した。

開催日時：平成28年10月7日(金) 13:00～16:50 懇親会17:00～18:00

基調講演講師：森仁史氏(柳宗理記念デザイン研究所 シニア・ディレクター)

パネルディスカッション パネラー：森仁史氏×山村慎哉氏(漆工芸家、金沢美大教授)

×畝野裕司(JPDA理事、金沢美大教授)

会場：金沢美術工芸大学 美大ホール、研究棟、食堂

出席者数：152名(会員102名、非会員9名、講師・教授3名、学生28名、その他10名)

全国会議から名称を変更し、JPDAデザイン会議を金沢市で開催した。金沢美術工芸大学を会場に「金沢のデザインフィロソフィーを学ぶ」と題し、柳宗理記念デザイン研究所シニア・ディレクター森仁史氏の基調講演では、社会情勢によって変化するデザインの変遷分析と未来思考への示唆。続いて同大学教授漆工芸家の山村慎哉氏の精緻な作品画像を通しての漆工芸解説と、同氏と森氏、畝野理事によるパネルディスカッションが行われた。その後、学生による商品企画デザインプロジェクト発表と、ホールロビー試食会での相互交流や、同時期校内展示の「グラフィックトライアル展」鑑賞、会員の

[いいねシール] 評価での参加型視覚デザイン科創作展鑑賞と学生プレゼンテーションがあり、大学食堂を会場に地元食材とNプロジェクト酒などによる交流会を行った。

※加藤理事長から、旧の「全国会議」が良かったと言う人もあれば、新しい「デザイン会議」が良いと言う人もあって、今回は盛りだくさんの企画になって大変だったろうと思う…という労いのコメントがあった。また、畝野理事から協力に対するお礼の言葉があった。また、加藤(桑)理事から、包装タイムス紙に掲載された金沢デザイン会議の記事及び、柴野邦雄氏の金沢デザイン会議印象記抄録が紹介された。

事業の詳細に関しては、広報誌PD25号で確認ください。

### ○西日本(勉強会)

・井上理事から、西日本勉強会ひらく vol.2 「あなたの知らない粘着の世界」セミナー&工場見学 in 犬山」についての収支計算報告があり、  
公益会計は、収入合計30,000円、協会補助125,000円、支出合計99,613円、  
収支差額+55,387円、  
法人会計は、収入合計76,800円、協会補助 0円、支出合計76,800円、収支差額±0円  
を承認した。

開催日時：平成28年9月10日(土) 講演会：11:00 ~ 12:00、工場見学:13:00 ~ 14:30

開催場所：講演会：犬山商工会議所、工場見学:シバタセスコ株式会社犬山工場

出席者数：24名

西日本勉強会ひらく vol.2 「あなたの知らない粘着の世界」セミナー&工場見学 in 犬山」を、講師にシバタセスコ(株)の代表取締役社長・柴田哲男氏をお願いし、講演会と工場見学を行った。シバタセスコ(株)は粘着・接着加工の専門企業で、テープや箋、シールなどのステーションナリーのほか、生活雑貨やスポーツ用品の製造を手がけている。犬山へはバスを利用し、車中、委員長・三原さん作成の資料で「粘着の世界」を予習して向かった。講演会では接着・粘着の原理を学び、接着は固まり、粘着は固まらず常に濡れたままの状態を維持することが違いであることを学んだ。加えて、粘着剤の性能は、つく力の強弱の他に、繰り返し貼ったり剥がせたりできるか、ついた状態を長く保持できるか、剥がした痕は残らないかななどを調整しなら、目的に応じ設計するそうだ。その後伺った工場では、粘着シートの製造工程や、粘着剤のグラビア印刷などの新しい技術が見学できた。

### ○総務(JPDAエクササイズ&コミュニケーション)

山崎事務局長から、「JPDAエクササイズ&コミュニケーション」についての法人会計の収支計算報告があり、収入合計609,700円、協会補助 0円、支出合計609,700円、  
収支差額±0円を承認した。

開催日時：平成28年11月28日(火)

開催場所：東京ドーム&後樂園飯店

出席者数：72名(会員38名、非会員34名)

JPDA主催に変更となって2回目のエクササイズ&コミュニケーションは、前回より少ない17チーム・72名(昨年：19 チーム+交流会のみ2名=78名)の参加となった。

参加者は会員38名、非会員34名の内訳で、例年のことではあるが、若い女性の参加が特長となっており、ボーリング、交流会共に元気いっぱいの交流が見られた。

これは、エクササイズ&コミュニケーションの特長で、若手の参加を拡大していく方法の一つではないかと考えており、今後も非会員の若いデザイナーへのアプローチを強化することでコミュニケーション拡大に結びつけていきたい。

## <報告事項>

### ○国際交流

- ・森理事から資料(アスパック事業)に沿って下記の案内があった。
  - (1) 日本国内最終選考の結果：応募総数600点のうち、第1次審査を通過した300点から、佳作47点、入選10点、入賞4点が選出された。入賞4作品がアジア決勝に駒を進めることになった。
  - (2) 上記に関する記事が、朝日新聞の東京版、大阪版に掲載された。宣伝会議、日報ビジネス、ジェイパックワールドに掲載予定。
  - (3) アジア全体での応募総数は3,000点となり、世界最大級の国際・学生・パッケージデザインのコンペに成長した。
  - (4) 今後のスケジュール
    - ・1月15日(日) アジア最終決勝審査
    - ・1月16日(月) 贈賞式
    - ・1月17日(火) 展覧会オープニング (1/17~1/23)
    - ・2月7日or8日~22日 大阪 巡回展(平和紙業ペーパーボイス)
  - (5) 来年以降の作品応募に関しては、WEBでの申込を可能にしたいと考えている。
- ・森理事からAPD(代表者会議)に関して下記の案内があった。
  - ・台湾の次の幹事国は日本であり、隔年開催でいくと2019年の開催になるが、JPDA60周年記念及びオリンピックイヤーとを考慮して、2020年の開催としたい旨をメンバー国に打診中である。
  - ・幹事国の台湾からAPDにおいて、APDに貢献した各国1名に「APD貢献賞」を授与してはどうかという提案があった。
  - ・APD展覧会の充実に向けて、前回開催時の入賞作品を展示してはどうか…との提案があった。

## ○展覧会

- ・小川裕子理事から資料に沿って、9月14日(水)～26日(月)に渋谷ヒカリエで開催された創作展「日本を包む展」の概要が案内された。入場者は6,702人(1日平均516人)で、ヒカリエでの催事の入場者としても多い方だとの評価を得ることが出来た。
- ・中森理事から資料に沿って、12月26日(月)～2017年1月11日(水)まで大阪展が大阪梅田の「ブリーゼブリーゼ」で開催予定。1月10日(火)に「日本を包む討論会(中森理事をコーディネーターに、パネラーに牛島理事・小川理事、西日本から竹林氏・坂東氏)」と「2017西日本新年デザイン交流会」が開催予定であることが案内された。

## ○出版

- ・山崎理事から資料に沿って、「年鑑日本のパッケージデザイン2017」への広告出稿のお願いがあった。前回と同様であるが、枠付き1頁でカラーが30万円/モノクロが20万円。

## ○教育

- ・永田理事から口頭で下記の案内があった。  
今期の教育(ワークショップ)は、2017年2月と3月の2回に分けて開催予定で、講師はスープストック東京等を運営する株式会社スマイルズの社長・スタッフの方々に担当いただくことになった。会場は株式会社スマイルズの会議室をお借りする予定。

## ○広報

- ・永島理事から資料に沿って、広報誌PD25号のコンテンツが案内された。25号の事業特集は「金沢デザイン会議」「『日本を包む』展 in 渋谷ヒカリエ」「海外視察 サンフランシスコ/ポートランド」と盛りだくさんで、気になる会社インタビューが「STARRYWORKS」、ロングラン商品の秘密が「コンバース オールスター」、会員インタビューが東日本/西日本、等を予定している。今号は写真を多くしているので、編集に苦労しているとのことであった。

## ○インターネット

中越理事から資料に沿って、JPDAサイトの更新状況、1月～2月開催予定の事業・催事の案内告知等、継続的に記事追加・更新が出来る委員会紹介ページの検討、等が案内された。また、今後のインターネットメディアでの情報発信として、喫緊の課題としてJPDA事業や活動を広く告知する、コンテンツを増やすよりも既存コンテンツ・既存事業の周辺を充実させていく、事業案内告知は段階的に複数回おこなうのが効果的、イベント終了後のレポートは速やかに掲載、既存コンテンツはトップページのピックアップに取り上げるなど閲覧を促進、Facebookページでも同様に既存コンテンツへの誘導を図る、会員ページ内の記事追加・記事募集・PDバックナンバー公開など継続的に充実させる、新コンテンツの検討は各委員会と協議・調整し継続的に行う、等が案内された。



## ○調査研究

- ・加藤憲司理事から資料に沿って下記の案内があった。

10月18日～11月4日に実施した法人会員に宛てたアンケート調査の結果が案内された。230社に送付し回答数は115社で回答率は50%であった。正副理事長からは、アンケート結果を活用して法人企業のJPDAへの期待に応えると共に、法人会員獲得策の妙案を出して欲しい旨の要請があった。また、調査結果はアンケート調査に協力いただいた企業には報告すべきとの意見が出された。なお、結果の詳細に関しては後日掲載予定のJPDAサイトで確認ください。

## ○デザイン保護

- ・小川亮理事から資料に沿って下記の案内があった。

### 1.) HP委員会レポートページの更新

9月26日【Vol. 83】「デザイナーが知っておくべき知的財産権-その制度-」

10月17日【Vol. 84】「セミナー案内&知的財産権の戦略的な権利の取得方法」

11月29日【Vol. 85】「警告書の対応&特許庁公報検索〈J-PlatPat〉セミナー速報」

### 2.) 特許庁公報検索の体験型セミナー/11月14日(月)

### 3.) D-8(日本デザイン団体協議会)デザイン保護研究会参加

(詳細に関しては、JPDA ウェブサイトで確認ください。)

## ○アーカイブ

- ・青木(入江)理事から資料に沿って下記の案内があった。

- ・研究記録活動

作品保管整理作業を3回に亘って実施した。(10/17、11/16、11/30)

この結果、アーカイブ品54点のリスト更新作業を終了。次回からは保管段ボールの内容明記リスト作成作業及び画像データ不在商品の撮影作業を予定。

- ・D-8 JDM活動

日本デザイン団体協議会(D-8)ジャパン・デザインミュージアム設立研究委員会に2回出席した。(10/11、11/21、信藤理事、柴野委員、松田委員、青木(入江)理事)

## ○東日本

- ・竹内理事から資料に沿って下記の案内があった。

12月1日(木)に東日本「Talk Cafe 2016」を開催した。「寒天×包む」二十代の挑戦、成し遂げるストーリーと題して、AMAM(荒木宏介氏、前谷典輝氏、村岡明氏)の3人を講師に迎えて開催した。参加者は65名であった。

## ○中日本(北陸)

- ・畝野理事から資料に沿って下記の案内があった。

12月13日(火)に「Talk Cafe 2016 in KANAZAWA」を開催予定。「Package Topics 2016」と題して、地元クリエイターと富山出身のJPDA理事・竹内清高氏が、熱い想いを語り合うトークセッションである。

○西日本

- ・「2017年西日本新年交流会」×「日本を包む討論会」については、展覧会のところで報告済み。

第11号議案 事務局報告

山崎事務局長から下記の報告があった。

- ・会員状況について
- ・平成29年度事業予算及び平成28年度事業収支決算の作成・承認に関するスケジュールについて
- ・「1月定例理事会」及び「東日本新年デザイン交換会2017」のスケジュールについて
- ・協会名義使用承認について

第12号議案 次回理事会開催スケジュール

日時：平成29年1月25日(水) 午後1時30分～5時00分

場所：文京シビックセンター(区民会議室) 5階 会議室 A

東京メトロ丸の内線・南北線「後樂園」駅前

※ 当日は、「東日本新年デザイン交換会2017」を日比谷・日本プレスセンタービル10F「アラスカ」で開催予定ですので、中日本・西日本の役員の皆様も是非ご出席ください。